

橋本市がNO.1になるための取り組みについて、下記に記述してください。

<u>1. テーマ</u>
「夏休みの子どもの居場所」
<u>2. 目的・ねらい (why)</u>
夏休みの長期休暇で家族が働きに出て、家にいない場合、子どもたちのことを橋本市では地域ぐるみで子育てすることをアピールし、定住促進につなげる
<u>3. 課題 (what)</u>
具体的実施内容については、紀見小学校の15日間サマースクールを見本とする。問題点は、各ブースでの生徒数や講師の調整等に時間を要する。また、講師はボランティアで各種団体、個人におねがいしている部分もあり、学校を増やすことにより講師不足が予想される。市役所出前講座や個人特技（人材バンク）によりサマースクールを実施していく。（例、防災講習、人権研修、認知症をしよう、など）
<u>4. 対象者・対象範囲 (who・where)</u>
市内各小学校生徒
<u>5. 実現手段・内容 (how)</u>
・ 紀見小学校サマースクール内容（例、柿カレー、柿の葉寿司、柿アイス、パン作り、ピオトープ、茶道、ごま豆腐作りなど） 市でコーディネートし、参加費@200円徴収することにより、講師へ謝金を払う。それにより、講師不足を解消できる。 ・ 市内各小学校で行う ・ 市役所出前講座活用
<u>6. 実施時期 (when)</u>
毎年夏休み期間（学校の行事等考慮必要）
<u>7. 実現するための体制 (who)</u>
公民館、小学校、各種団体、個人、市役所出前講座、協力が必要 市内からボランティアメンバー募集（退職後世代に活躍してもらおう、プラチナ世代）
<u>8. 効果</u>

地域で子育てしていることで、子育てしやすいまちとして若者世代の定住促進が期待できる。また、子ども同士のつながりにもなる。

9. その他

学童とのちがいは、地域の人々と関わる場所である。